

(刊 夕)

常磐新報

常磐論談

無自覚なる町民の反省を促す

小名濱町民の無自覚さは、單に無自覚さのみならず、責任觀念なる履負獎勵會のみでない、其存共榮の精神も共同體の施設に就いても他人事務觀を以て町民は假令巨として傍觀的態度を取り、自萬の財により事業を始めるに、已の組合に就いても、右の通とも到底生存をなし得るも、りであるが、代議せられたのでない。ノー、ヘット三、人間亦他人の仕事として、十パーセントの小名濱町、一文にならずと職務に不慮民の没落は當然過ぎる程の、實である。されば小名濱の當然である。されば吾等が、組合は會計や監事、理事の大層シツクするは、覺めよ、居ない組合のみであるので、ゴーストより止めよ、ア、ある、責任觀念に對するは、主を成つて、小名濱百年、針の光り程もない、斷言し、計を成つて、兵我利、でも可なりである。責任觀念は、よつて百年の基礎を、念のなき國民は、滅亡する如く、破滅する人間を、無自覚で責任觀念のない、無自覚なる町民の、町民は町を滅亡させる、の、メン、カン、養に、小名濱の商港も、平小線するるのである。 (完)

自治の黨化を防げ

希望は勇氣の源泉

江名町 菅野 白公

人間はただ自分の家だけ、社會理想は共存共榮である、或程度の資産を作つて満足然るに此の大なる共同體、する事は出来ない、社會は利を政策の競争によつて支配、害共通である、隨つて責任の權力の競争を目的とする、天工及舟大工の料金の件に、滞である相互扶助でなければ、關聯團體の氣勢並に方法を、就いて、數次に亘り協論を重、は人としての資格がない、その位に浸潤せしむる事は、ぬて来たが、

小名濱網舟大 工の賃銀値下

過日小名濱漁業組名は、網舟大工の賃銀値下、天工及舟大工の料金の件に、滞である相互扶助でなければ、關聯團體の氣勢並に方法を、就いて、數次に亘り協論を重、は人としての資格がない、その位に浸潤せしむる事は、ぬて来たが、

今日 日曜日 休刊
定価 一年 三圓六拾錢
半年 二圓
三ヶ月 一圓
定額 一ヶ月 三拾錢
廣告料 一ヶ月 五拾錢
指定 一ヶ月 五拾錢
發行所 常磐新聞社
編輯部 小名濱町古港
印刷部 小名濱町古港

不景氣打開對策 座談會

密ボンを目前に控へて不景氣は益々度を増しわけて漁場の興亡に關する程の深刻さに、江名町中の作船主側及び鮮魚商側約三十名は去る二十七日中の作信用組合階上に於いて不景氣打開對策座談會を開き懇談する所があつた。

女房死す 某惡德醫者の誤診から

(見兼ねた男生徒)

某町某理髮師の女房は常々の持病で、弱の上昨今の酷暑に發熱し、其醫者の診察を受け通常の容体を述べしに、醫者として當然参考とすべきに參考とせず却つてそれを無視して、チンピラと断定して、避病院に隔離せらるに、數日を出して死亡したので、彼の女の夫なる某理髮師は、其惡德醫者の殊に常々の容体を容れず切に、厭厭せし、便便液もせず死に至らしめた事は、何んとして、斷らぬ事が出来なかつた、夜惡嘆に暮、罪惡を事とし、著財に目のくらんだ此の惡德醫者を呪ひつゝあり、

鹿島神社例祭執行

本社も此の内容と實狀を調査し、悪事山積の惡德醫者の何人なるやの探究と、に社會より、善るべく其の調査を進めつゝあり

開店廣告

和洋菓子製造 國華堂
小名濱町劇場入口

美髮師 佐川 松太郎
小名濱町米野 不動の湯下

高砂理髮館 鈴木 政季
産婆 遠藤 幸
小名濱沖見町 スズラン前

御手輕和洋食堂 寶來 ばい
小名濱上横町

これで 醫者は仁術か

(續 橋生 生 投)

人の世に仁術を以つて起つ、醫師が假令深更と云ひ急病の使を受け知りつゝ、一、言も發せず、断りもせず、故に、遂に往診しないと云ふ、我等の家庭でも急病の時、ふ事が出来得るでせうか、余りに遅く、急病の時、公事なる諸君の判断にお任せ、事實は去る二十四日午前、一時半頃若松忠久の二才、なる長男が急病で隣の、よしみに私は中村醫院に、馳せ付け往診を乞ふべく、免税の特典ある者が御都門戸を叩いたものであり、合に依つて往診どころか返、ました、が何分小兒の事、故急を要するの命に替、へられません家の中では、咳拂がしきりです起きて、くれなければ又外に方法、もありませんが當然起、てゐるのですから貴重な

名士往來

○鈴木小名濱町長過日來全
國町村長會議に出席の爲上
京中廿五日一週間の予定で
岡山へ視察に向つた
○小野普平氏(清水屋店主)
廿九日平へ
○郡司次郎(小名濱大敷網
船主)同上
○飛塚水産試験場長廿八日
原釜へ出張廿九日歸町
○小野保一郎氏(兵事係)廿
八日石城郡徴兵抽籤の爲二
十七日福島へ廿日歸町
○黒澤島雄氏(庶務係)石城
郡統計會議出席の爲二十九
日平へ即日歸町

所得稅調査委員 選舉期日

小名濱町所得稅調査委員及
補員選舉は、選舉十月六
日に執行することになつた

厄日と平靜

九月一日は二十日にあたりて農家の危憂は不景氣の
折柄一倍であるが、期米師は端境期の品カヌルを思惑し
て天災を待つて居るが、今廿日午前六時の全國氣壓配
圖ながめ、測候所小磯技手は、日北海道東方洋上に、攪布し
て居る七百六十七ミリの高氣壓も、日本海に發生した低
氣壓に押されて次第に東方に移動して居るから、雲り勝
ちの天気も次第に晴れて一日の二十日も、全圖稀れに
見る平オン、無事の見込にて尙、許一週間に、雨の
雨の見舞はなからう、稲作は、愈々懸念作疑ひなしとなつて
米價も益々釣邊落しとならう、小名濱測候所

福島縣小名濱町 常磐興信所

斜視眼

日の出醬油製造元

志賀 要 平 君

現在第一線に立つ五十幾らは井中の王たる勿れと云からみ後を受け双ケンにひたひた。

荷ふて大小名演の牛耳を取將來の小名演は何處迄發展するに志賀君がある。

君は廿の路にあり豫備小尉しなれど斷言出來得る肩書もある家柄は本町屈るが、今や吾小名演は發展指の名門であり資産家であるの途にある此の大小名演

醬油製造に自らサイ配をの指針となるべきセカン振り側眼も振らぬ熱心さにドリーターが必要なのだ志

は一般が驚異の目を見開いて賀君ウデ鳴を覺へざるを得て居る在郷軍人分會の幹事なりであらう。

青年團の幹部志道會の會長粉々たる小事に拘泥せず君と一通の役目は果しつゝあの大なる天分を十二分に發揮せよ。

青年時は稍々ともすれば奇蹟に走り易きが一般なるに君は其の微を踏ます十二分の堅實味がある次回の町

議戦には最少年者として又新知識者とし町會の花形たるを疑ふ餘地なかるべし。

記者は君に苦言を呈するな

紅燈の影

元來水の悪い處にや美人が

ないつて云ふ語ちやか成程オヤ御挨拶や

そうだらうね尤も小名演でも誰に見せてもこへつ

妓は美人系統に近い方が

ねソレニナンゴセ昔は随分と云ふ顔の持主に若竹のヤ

美形があつたもんだがだん

今時の様に美人拂底も

ことになつたんだぞうだせ

「アタイなんか之れでもなんでも湯の谷波り」

島田 忠夫

あさき

梅林

梅のはな

ゆれる

梅のはな

ゆれる

ゆれる

ゆれる

ゆれる

ゆれる

ゆれる

ゆれる

ゆれる

ゆれる

ゆれる

ゆれる

ゆれる

ゆれる

ゆれる

ゆれる

ゆれる

ゆれる

民衆的のらくら



千鳥びやり

小名演中町通島

池部齒科醫院

江名町

江名町

中之作鐵工所

江名町中ノ作

電話十九番四一番

磐城水産工業株式會社

社長 小野 晋平

總支配人 藤尾 伊太郎

小名 町 濱

電話六六番、一一〇番

小名濱水産株式會社

電話四十三番

品質本位

修繕確實

販賣

金銀時計、眼鏡、指輪

各種レコード、蓄音器

改裝紀念ノ爲メ製品進呈

小名濱中町

佐藤時計店

藥の御用

白石藥舖

森西洋洗濯店

電話呼出一二五

カフェー

ナカヨシ

西村藥局

平町三丁目

石坂齒科醫院

午後江名町出張

寶屋商店

昭和タクシー

平町

和洋銅鐵、金物問屋

釜屋商店

平町五丁目

電話九番 一三九番

洋食

キング

カフェー

キラク

小名濱町

木田齒科醫院

小名濱町

電話一〇五番

ラヂオ製作

各種時計

指輪 眼鏡

蓄音機

附屬品

小名濱中島通り

内山時計店

電話四十九番